

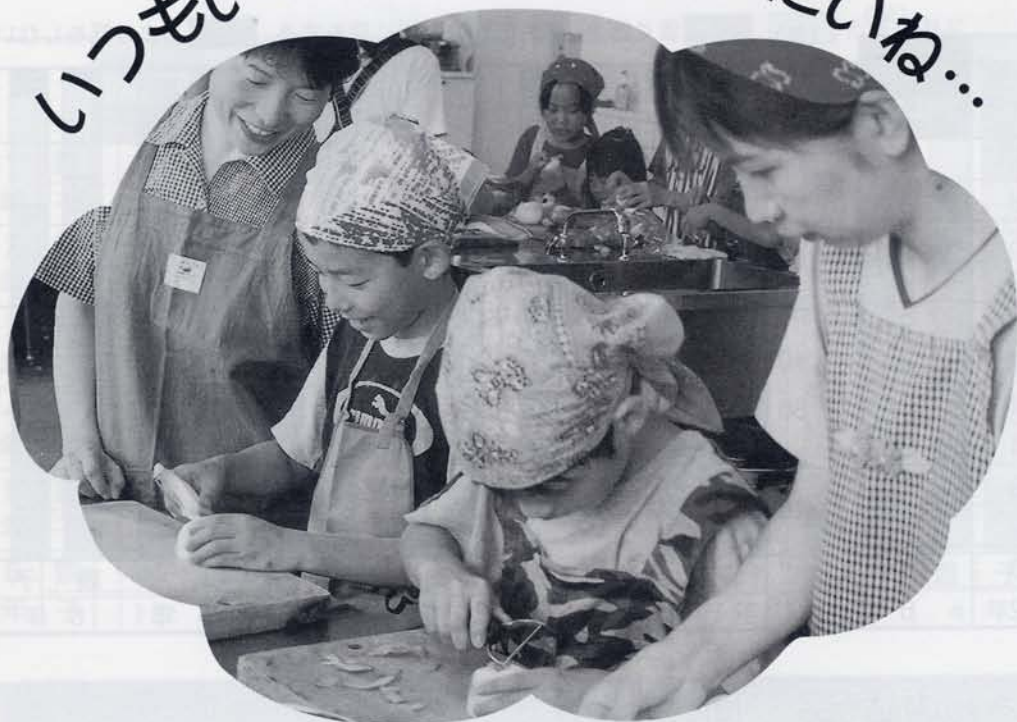


がんば

【第156号】

発行
島原市立第三
小学校育友会
編集
広報部
印刷
正光印刷

いつもいっしょに笑っていたいね...



特集

親と子のぎずな



か？合っていますか？

関するアンケートー

回答率 子ども 449人
保護者 417人
(回答率 93%)

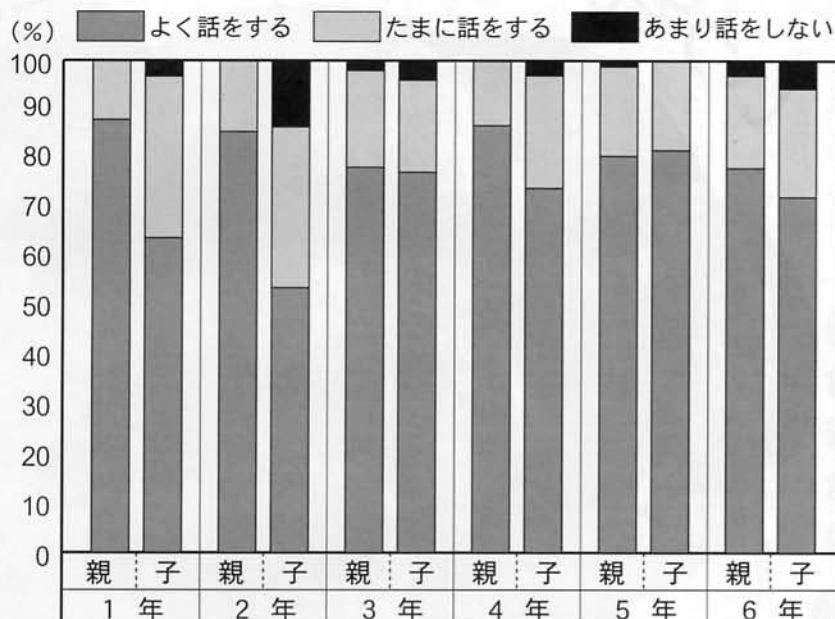
昨年度の保護者アンケートで、子育てで大切なことは、「会話を愛惜、思いやりとしつけ」というご意見をいただきました。

そこで本年度は、「親と子どもの絆に関するアンケート」と題して、親子の関係について、保護者の皆様とお子様、先生にお聞きしました。

たくさんの方の貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

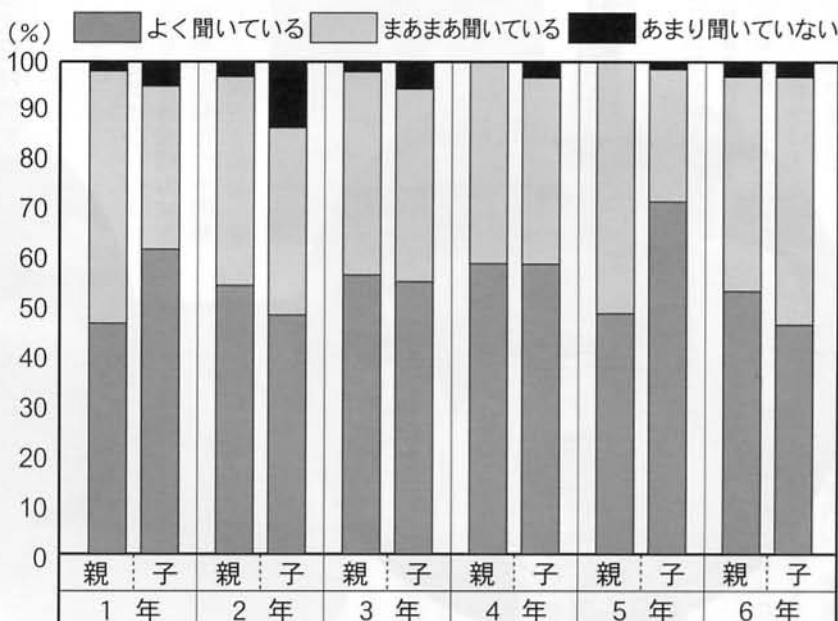
Q1、お子さんに対して、よく話をしますか？ (うちの人は、あなたとよく話をしますか？)

		(%)		
		よく話を する	たまに 話を する	あまり 話を しない
1年	親	87	13	0
	子	63	33	3
2年	親	85	15	0
	子	53	33	14
3年	親	78	20	2
	子	77	18	4
4年	親	86	14	0
	子	73	24	3
5年	親	80	18	1
	子	81	19	0
6年	親	77	20	3
	子	72	22	6



Q2、お子さんの話をよく聞いていますか？ (うちの人は、あなたの話をよく聞いてくれますか？)

		(%)		
		よく聞 いている	まあまあ 聞いている	あまり聞 いていない
1年	親	47	52	2
	子	62	34	5
2年	親	54	44	3
	子	49	38	13
3年	親	57	42	2
	子	55	39	6
4年	親	59	41	0
	子	59	38	3
5年	親	49	51	0
	子	71	28	1
6年	親	53	44	3
	子	47	50	3



分れあっています 心は通じ

— 親と子どもの絆に

Q 3、お子さんとよく遊びますか？

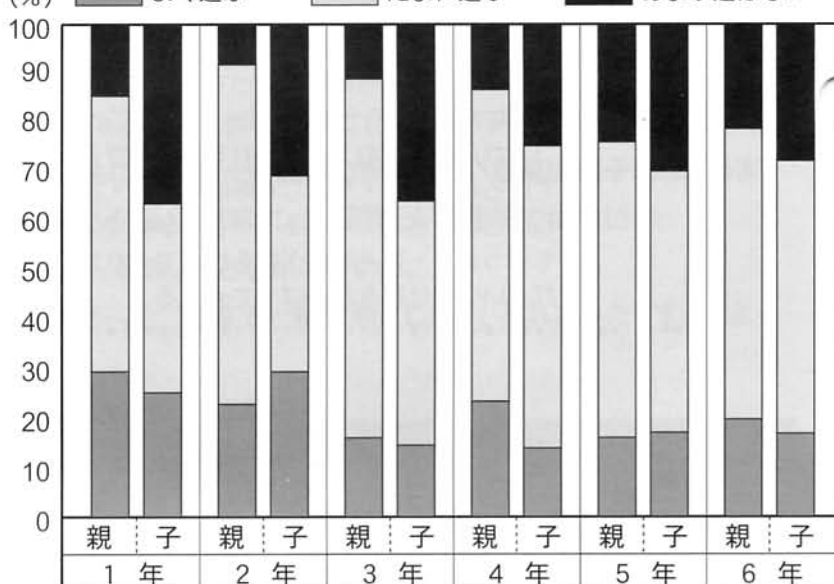
(おうちの人は、あなたとよく遊んでくれますか？)

(%)

		よく遊ぶ	たまに遊ぶ	あまり遊ばない
1 年	親	30	55	15
	子	26	37	37
2 年	親	23	68	9
	子	30	39	31
3 年	親	17	71	12
	子	15	48	37
4 年	親	23	64	13
	子	15	59	25
5 年	親	17	59	24
	子	18	52	30
6 年	親	20	58	22
	子	18	54	28

(%)

よく遊ぶ たまに遊ぶ あまり遊ばない



Q 4、お子さんの気持ちをよくわかっていますか？

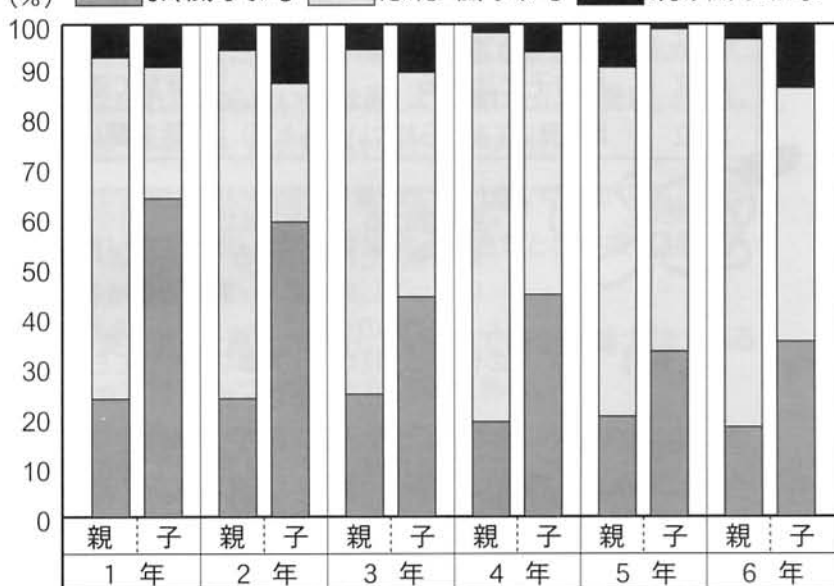
(おうちの人は、あなたの気持ちをよくわかっていると思いますか？)

(%)

		よくわかっている	だいたいわかっている	あまりわかっている
1 年	親	25	69	7
	子	65	26	9
2 年	親	25	70	5
	子	60	28	12
3 年	親	26	69	5
	子	45	45	10
4 年	親	20	78	2
	子	46	48	6
5 年	親	21	71	9
	子	34	65	1
6 年	親	19	78	3
	子	36	51	13

(%)

よくわかっている だいたいわかっている あまりわかっている



Q 5、お子さんに対して、言ったり、したりして良かったと思うことは、どんなことですか？

(おうちの人から、言われたり、されたりして、うれしかったのは、どんなことですか？)

	親	子ども
1 位	ほめる	ほめられた
2 位	しつけ（行儀、挨拶）	物を買ってもらった
3 位	親の思いをじっくり話した	一緒に遊んでもらった、外出した
4 位	悩みを聞く、共感する	世話をしてくれた、教えてくれた
5 位	励ます、応援する	話を聞いてくれた



その他の意見

- 【親】 ・ありがとうと言う ・スキンシップ ・「生まれてきてうれしい」 ・「何があってもあなたの味方よ」 ・自分が子どもの時のことを話してあげる ・勉強も運動も実際にやってみせた ・約束を守った
- 【子】 ・一緒に料理などをしてくれた ・頼みごとをされた ・行事を見に来てくれた ・「テストがんばってね」と言われて気合いが入った ・怒ってくれる時（私のために言っているんだ） ・やさしく呼ばれた ・よく笑ってくれる ・自分のことより、まず私のことを考えてくれる ・よく学校での楽しいことを聞いてくれる ・本を読んでもらった ・好きな食べ物を作ってくれた ・家族と一緒に暮らせる ・おうちの人、いつも仕事をがんばってくれる

Q 6、お子さんに対して、言ったり、したりして後悔していることは、どんなことですか？

(おうちの人から、言われたり、されたりして、かなしかったのは、どんなことですか？)

	親	子ども
1 位	感情だけで叱る	怒られた
2 位	言葉で傷つける、けなす	たたかれた
3 位	口やかましく言う（早く！）	口やかましく言われた（～しなさい、ダメ）
4 位	他の子と比べる	言葉で傷つけられた（バカ！出て行け！）
5 位	話を聞いてあげられない（あとで）	話を聞いてくれない



その他の意見

- 【親】 ・手をあげる ・八つ当たり ・甘やかし過ぎた（物を与え過ぎた） ・夫婦げんか ・親の考えを押しつける ・先を読んで「ダメ」とか言ってしまう ・結論を先に言ってしまった ・約束を破った ・子どもに言うだけで自分はしない ・「子どものくせに」 ・下の子を優先してしまう ・いつも後悔している
- 【子】 ・自分のせいにされた ・大事な物を捨てられた ・邪魔された ・倉の中に閉じ込められた ・言うこととすることが違う ・テレビを見たらダメと言って自分は見ている ・約束を守ってくれなかった ・人の気も知らずに行動する ・反省してる時に母が怒って「子どもを持っていると大変」というのが聞こえた ・あやまっても許してくれない ・私の嫌いな人に似ていると言われた ・他の子と比べられる ・しゃべってくれない ・知らんぷり ・遊んでくれない ・家に帰ってくるとクラブのことをしつこく聞かれる ・「帰りが遅くなるよ」と言われたこと

Q7、親子の絆を結ぶために、どのようなかわり（スキンシップなど）をもっていますか？

1 位	会話をする
2 位	食事・風呂・寝るなどを一緒にする
3 位	一緒に遊ぶ、でかける
4 位	抱きしめる
5 位	行事へ参加する

その他の意見

【親】 ・同じ趣味をもつ ・本を読んであげる ・子どもの友だちとも仲良くする。また悪いことをしたら友だちだろうと叱りつけ、素直に受け止める関係を心がけている ・自分の部屋にこもってしまわないように部屋をオープンにし、互いの気配を感じながら生活している

Q8、お子さんに対して、親としてこうしたいと思うことは、どんなことですか？

(おうちの人から、こうしてほしいと思うことは、どんなことですか？)

	親	子ども
1 位	何でも話せる、信頼できる親	一緒に遊んだり、外出してほしい
2 位	子どもの可能性を広げる (サポートする、やりたいことをやらせる)	物を買ってほしい
3 位	親がお手本になりたい	やさしくしてほしい
4 位	見守る	気持ちを理解して(話を聞いて)ほしい
5 位	家庭円満	健康でいてほしい



その他の意見

【親】 ・一人の人格として尊重する ・一生懸命働く姿を見せる ・明るい未来を持たせてあげたい ・仲良くて友達ではなく、親と子の関係であること ・子どもと一緒に成長したい ・小さな事で子どもの良いところは誉める ・子育て講座を受けたい

【子】 ・今のままでいい ・教えてもらいたい(勉強・料理) ・ペットをかってほしい ・家族仲良くしてほしい ・暴力を止めてほしい ・しっかりしてほしい ・ウソをやめて ・約束は守ってほしい ・自分のことは自分でしてほしい ・いい加減なところを直してほしい ・食事の時にメールを送るのはやめてほしい ・自分が一生懸命している時、あまりしゃべらないで ・仕事で疲れてストレスがたまっているのはわかるけど、家で当らないでほしい ・しっかりとってしっかり誉めて ・もっと笑顔でいて ・けっこう大きくなったのを認めて ・しつこく言わないでほしい ・自分のことは自分でできるから、心配しないでほしい ・自分が子どもの頃頭が良かったからといって偉そうにしないでほしい ・仕事が大変だからって「疲れた疲れた」と言ってほしくない ・ちゃんと育ててほしい ・朝ごはんにおかずを作ってほしい ・お母さんがずっと生きてほしい ・お母さんに友達がほしいと、おまじないで教えてあげたい ・仕事から帰って疲れをとってほしい

今回のアンケートで普段の関わり方についての振り返りができたのではないだろうか？子どもたちがどう思っているかを知り、大人の接し方を考えるいいきっかけになるといいなあと思います。

さて、保健室へ来る子どもたちの様子から「大人が過干渉なのか？(自分でできることも大人が手を出し、自分でできない)」と思われる子どももいる反面、「もう少し関わって欲しいなあ」と感じる子どももいます。どちらかといえば後者の方が多いようです。

「先生、昨日ね」「ちよつと聞いて！」と次々と前後左右から話しかけられることもあります。自分の気持ちを言葉に出せない場合は、「頭が痛い・おなかが痛い」と症状を出して来室することもあります。『ちよつとホツとできる空間・自分を出せる場所(心の安定)』を保健室という部屋で満たそうとしているのかもしれない。

症状が続く場合は家庭での様子を担任へ聴き配慮しますが、学童期の心の安定ができるのは、やはり「家庭にいる大人」だと思います。

家事や仕事の合間の短時間でも会話して気持ちの確かめ(ホツとできる)が必要なのではないでしょうか？もちろん、親子関係だけでなく子ども同士のトラブルもあります。学校・家庭・地域で生きていく中での様々なトラブルを解決し、乗り越えていけるだけの「生きる力」を大人が協力して育てていけたらと考えます。

ホツとできる心の安定を
養護の本多先生より

先生から見た、親と子どもの関係

今回の「親と子どもの絆に関するアンケート」では、先生にもご意見をうかがいましたので、ご覧下さい。

1・親と子どもの関係の現状について、良いと思われる点

- ・何でも話せる親子関係であればいいなあと思います。自分自身の反省ですが、子どもが失敗した時、「親に知られたらとんでもない」と思うような状況はよくないと思います。失敗した時、「お母さんと話をしてみよう」、「お父さんと話せば気が晴れる」と思うような親子関係であればと思います。
- ・体調、子どもの変化に敏感で、対応が早い。
- ・親の子に対する接し方がとてもやさしい。声のかけ方、休日の過ごし方等、「子どもを大切にしているな」という様子が伝わってくる。また、子どもに対して一生懸命つきあっている親は親子関係もうまくいっていると思う。(子どものことを考えているという意味で、過保護という意味ではない。)
- ・子どもが頑張ったことやできたことを、しっかりほめようと心がけている。
- ・子どもと一緒に遊んだり、いろんな所へ行ったりと、家族で一緒に過ごしたり、ふれあったりすることを大切にしている
- ・働くお母さんが増え、仕事と家庭を両立していてすばらしい。
- ・子育てに父親が積極的に関わっている。

2・親と子どもの関係の現状について、もっとこうした方が良いと思われる点

- ・友だち的な親子関係も一面ではとても良いと思うが、経験もあり、また指導する立場である親は、ある面では厳しく物事の善悪を教えることも必要であると思う。これは譲れないという信念をもって子育てに向かえば、子どもたちも無軌道に流れず社会的な常識も身につくと思う。
- ・大人に対して失礼なことを言ったり、友達に迷惑をかけたりした時等、その場で注意できない親が多い。子どもに遠慮しているようだ。厳しくしなければならぬ時は厳しく！精いっぱい愛し、きちんと叱る。正しいことと悪いことをきちんと教えることが、大人の務めではないだろうか。
- ・子どもの気持ちを深く考え過ぎて、子どもに少し気を使い過ぎて、叱ってやれないことがあると思うので、自分勝手な児童が増えているように思います。厳しく叱る時は叱るべきだと思います。生活面は家庭でのしつけが重要ではないでしょうか。
- ・家庭での価値観をしっかりしつけることが必要であると思う。生活していく中で何が一番大切であるかを子どもに話して聞かせるなど、愛情をもって厳しくしつけることが重要である。
- ・親が躾をするべき(責任を持つべき)事を、やや教師や学校に頼りすぎる傾向にあるのではないかと思います。確かに、信頼してもらっているということは嬉しいですし、何でも相談してもらうことは構わないのですが…。

- ・ 少子化の傾向にあり、子どもに手をかけすぎている場合がある。手をかけることはだんだん離していかなければならないが、目をかける、声をかけることは、高学年になっても大切である。
- ・ 手をかけるべきところにかけず、かけなくていいところにかけ過ぎている。
- ・ 親より子どもの方が優位に立ち、それに振り回されているということが多々ある。
- ・ 子どもが話しかけてきた時、忙しくても必ず立ち止まって話を聞く姿勢を持つことが大事だと思う。現在の子どもたちは、親が忙しいので話すことをあきらめてしまったり、とても親に気を使ったりしているように思える。
- ・ 子どもをぎゅっと抱きしめてほしい(スキンシップ)(大好きだよ！)
- ・ 子どもには、なるべく自分で考え、判断できるよう、アドバイスを与えると良いと思う。親が決めてしまわず、子どもに考え、行動できるように配慮してあげられると良い。

3・その他、親と子どもの関係についての意見

- ・ 我家もそうなのですが、子どもが親のライフスタイルに巻き込まれて夜遅くまで起きていませんか？子どもには十分な睡眠が必要です。
- ・ 親と子どもの関係が以前の縦のつながりから横のつながりになってきている、友達感覚の親子関係が増えてきているのではないだろうか。それはそれでほほえましく思うが、躰、礼儀等の面から見ると心もとない。大切なのはそのバランスをうまくとっていくことだと思う。
- ・ 最近是谁もが忙しい。忙しい中でも、子どものために、他の人(仲間)たちとともに何かができる親でありたい。
- ・ 子育てはなかなか難しいです。なかなか子どもは親の思うようにはならないですが、親のしたことをしていくようです。よりよく育ってくれることを期待しながら、辛抱強く、愛情をこめて見守らなければならないと思います。

「おもい商店街まつり」

11/22



出てなかったけど、練習していくうちに歌になれてきました。でも練習の時、声が出なくなり、うがい何回もしました。リハーサルでは、あんまりドキドキしなかったけど、本番になったらまたドキドキしました。でも、歌い始めたら、ドキドキがなくなりました。わたしは、「歌って、すごいなあ。」と思いました。

二年一組 山本 ぼくと

ぼくたちの店に、一年生やおかあさんたちがよく来ました。つきつきにしようひんがうれて、ぼくが書いたポスターを五まいくらいもっている人もいました。とてもうれしかったです。

二年二組 下田 一夫

きょう、おもいしょう店がいまつりで、ゲームのほうほうをおしえてあげました。みんな、よろこんで魚つりゲームをしてくれました。とてもよかったです。

二年三組 井口 まさたか

今日は、楽しいおまつりになりました。一年生やおうちの人が、ゲームやさんにいっぱい来てくださって、とても楽しかったです。さいごに「ありがとう。」と言うのが、いちばん心に残りました。

市民音楽祭

11/16

四年一組 本田 理恵
練習を始めた時、あんまり声は



四年二組 高木 礼奈

市民音楽祭の前日、三年生がわたしたちに勇気をくれました。そのおかげで市民音楽祭本番で力を全部出すことができました。成功してとてもうれしかったです。『HEIWAの鐘』が一番よかったです。この歌を作られた仲里幸広さんにもきかせたかったなあ。そして、もっと歌で『いのちいっぱい』を伝えたいなあ。

給食試食会

10/16

一年一組 まつお さやか

しよくかいは、とってもたのしかったです。とくに、だんごスープがおいしくて、おかわりしようとしたら、もうなくなっていました。

一年二組 いしぐち かずとし

ぼくは、きゅうしよくしよくかいのとき、おかあさんといっしょにたべたのがうれしかったです。はじめてでした。おいしかったです。



CAP講習会

7/2

「子どもの身に危険が、そのとき子どもは！親は！」。子どもの権利「安心・自信・自由」についての考え方や、子どもから相談を受けた場合の親の対応について、あじじの会の中村則子先生による

講演会を白山公民館で開催し、十二人の参加がありました。子どもにも是非受けさせたいとの希望が多く、本年度より三年計画で全校児童・保護者を対象にセミナーを開催することになりました。

救命法講習会

7/18



夏休みのプール開放の前に、保健センターで救命法講習会を開催し、消防署の方から救急時の対応や人工呼吸の方法などについての指導を受けました。

白山地区家庭教育学級

11/5

子どもの生活習慣病について、管理栄養士の百村昭子先生による講演会を保健センターで開催し、六十人が参加しました。子どもの頃からの食生活や運動が大切だという、実例を交えたお話でした。

親子料理教室

7/6

朝ご飯を摂ることの大切さを知ってもらおうと、食生活改善推進

親子エアロビクス

11/13・15

協議会のご協力により保健センターで親子料理教室を行い、霊南と湊町の子ども会が参加しました。調理実習を通して地域の方との交流も兼ねた行事でした。

音楽に合わせて楽しく気持ちよく無理のない適度な運動を、毎回約四十五人の方と一緒に保健センターで荒木由美子先生に教えていただきました。健康体を維持していくためにも、日々の軽い運動が必要ですね！



編集後記

まずは、今年のテーマ「絆」の集計結果をがんば一五六号でお伝えする事ができ、ホッとしております。

親と子の考え方や受け取り方の違い等も比較しながら、親子でがんばをじっくり読まれて、「絆」をより深めていただきたと思っています。

(平野)